

日本小児科学会医療安全委員会主催

## 第14回 Sedation Essence in Children Under Restricted Environment (SECURE) オンラインコースの報告

開催日：2022年7月23日(土) 13:00~16:30

開催方法：オンライン (ZOOM)

参加費：11,000円 (1施設あたり)

参加者数：13名 (3施設)

目的：「MRI検査時の鎮静に関する共同提言」を理解し、安全な環境整備に関わる人材の育成を目的として開催してきた SECURE コースの、オンライン開催の妥当性と課題を把握する

参加者：医師6名、看護師4名、放射線技師3名

参加施設：鳥取大学医学部附属病院、鳥取県立中央病院、川崎医科大学附属病院

プログラム内容：

第1部 (30分)：座学 (共同提言の解説とオリエンテーション)

第2部 (55分)：シミュレーション実習 (実践型訓練と振り返り、他施設との比較検討)

第3部 (65分)：アクションプランを立てよう (各施設の問題点と課題解決に関する協議)

第4部 (30分)：発表・質疑応答 (アクションプランの発表、全体で意見交換)

コースの実際：本コースは全て Zoom を用いたオンラインで行った。事前準備として、各参加施設における MRI 室周辺環境を、Google スライドを使用して再現を依頼した。第1部は座学形式で共同提言の要点を伝えた。第2部は事前準備で用意した Google スライドを使用して、各施設の現状の把握をシミュレーション/ディスカッション形式にて3施設合同で行った。同一施設の医師、看護師、放射線技師が3人1組でシナリオシミュレーションを行い、振り返りの場で、自施設の課題や解決策を多職種で協議する場を提供した。第3部は、Zoom のブレイクアウトルームを使用し、各参加施設が自施設の課題の解決策に対して具体的なアクションプラン作成を行うワークショップを行った。実現性を高くするため、1参加施設につき医療安全委員会の委員1~2人がサポートを行い、より具体的な解決策の立案を目指した。ファシリテーターは助言や討論の場を提供した。第4部は、各施設のアクションプランを中心に発表し、参加者全員で討議を行った。

アンケート結果：「コース全体の満足度は？」5.2 (6点満点)、「安全な環境整備に対する意欲が向上したか？」5.0 (同)、「多職種での参加は良かったか？」5.6 (同)であった。参加者の声として、多職種で行う意見交換の場があることや、他施設の現状を知れることが非常に好評であったことは、今までの SECURE コースにおける感想と同様であった。オンライン開催であることについて否定的な意見はほとんど見られなかった。オンライン開催される学会やセミナーが増えており、参加者の約8割は何らかのオンラインセミナーに参加経験があった。オンライン開催を正式に開始して3回目となり、オンライン開催においても本コースの内容の理解は得られ、参加者の満足度もある程度得られることが分かった。アンケート結果から、参加している多職種間のコミュニケーションが本コースの重要な部分であると示されており、今後はこの点をさらに発展させることが課題である。現在は Zoom を用いた一般的なオンラインセミナー形式を採用しているが、参加者同士の関係の構築をさらに強くできるようなセミナー形態を模索することが必要であると思われた。

コース運営と今後の取り組み：オンライン開催による地理的な制約を受けない点、現地開催による参加者同士のコミュニケーションの取りやすさ、いずれの開催方法にもメリットがある。今後は現地開催とオンライン開催を組み合わせることで、本コースの受講機会を増やすとともに内容の改善を行っていく予定である。①第15回 SECURE コースは2023年中に現地開催予定② SECURE コースの様子やアクションプランの実例を、学会ホームページ内の医療安全委員会のコーナーから閲覧可能となっている。

[http://www.jpeds.or.jp/modules/guidelines/index.php?content\\_id=98](http://www.jpeds.or.jp/modules/guidelines/index.php?content_id=98)